

2004 年度(平成 16 年度)

決 算 報 告 書

自 2004 年 4 月 1 日

至 2005 年 3 月 31 日

社団法人企業メセナ協議会

収支計算書総括表

2004年4月1日から2005年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	一般会計	特別会計 (助成寄附金)	合計	差異
I 収入の部					
1.基本財産運用収入	6,000	6,016	0	6,016	△ 16
2.会費収入	95,180,000	93,930,000	0	93,930,000	1,250,000
3.事業収入	8,000,000	11,069,787	0	11,069,787	△ 3,069,787
4.雑収入	301,000	301,714	16	301,730	△ 730
5.助成寄付金収入	500,000,000	0	649,320,000	649,320,000	△ 149,320,000
6.特定引当預金取崩収入	6,000,000	7,290,000	0	7,290,000	△ 1,290,000
7.繰入金収入	300,000	0	600,000	600,000	△ 300,000
当期収入合計(A)	609,787,000	112,597,517	649,920,016	762,517,533	△ 152,730,533
前期繰越収支差額	30,400,000	32,223,265	△ 16,035	32,207,230	△ 1,807,230
収入合計(B)	640,187,000	144,820,782	649,903,981	794,724,763	△ 154,537,763
II 支出の部					
1.事業費 一般支出	87,234,000	77,622,365	485,076	78,107,441	9,126,559
助成寄付金支出	500,000,000		649,320,000	649,320,000	△ 149,320,000
2.管理費	42,597,000	40,618,030	0	40,618,030	2,450,970
	472,000				
3.特定預金支出	1,135,000	2,313,000	0	2,313,000	△ 1,178,000
4.固定資産取得支出	1,000,000	0	0	0	1,000,000
5.繰入金支出	300,000	600,000	0	600,000	0
	300,000				
6.予備費	2,000,000	0	0	0	1,228,000
	△ 772,000			0	
当期支出合計(C)	634,266,000	121,153,395	649,805,076	770,958,471	△ 136,692,471
当期収支差額(A)-(C)	△ 24,479,000	△ 8,555,878	114,940	△ 8,440,938	△ 16,038,062
次期繰越収支差額(B)-(C)	5,921,000	23,667,387	98,905	23,766,292	△ 17,845,292

収支計算書

2004年4月1日から2005年3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
[収入の部]				
1. 基本財産運用収入	6,000	6,016	△ 16	
基本財産利息収入	6,000	6,016	△ 16	
2. 会費収入	95,180,000	93,930,000	1,250,000	
正会員会費収入	90,500,000	89,250,000	1,250,000	
準会員会費収入	4,680,000	4,680,000	0	
3. 事業収入	8,000,000	11,069,787	△ 3,069,787	
参加費収入	300,000	124,500	175,500	セミナー参加費等
書籍売上収入	1,500,000	1,070,490	429,510	「メナマネジメント」「メナnote」等
広告料収入	800,000	700,000	100,000	「メナnote」賛助広告
コーディネート事業収入	1,000,000	4,774,797	△ 3,774,797	TAM、7サビ・アート・コラボレーション美術展等
委託事業収入	4,400,000	4,400,000	0	補正予算
4. 雑収入	301,000	301,714	△ 714	
受取利息	1,000	4,163	△ 3,163	
雑収入	300,000	297,551	2,449	
5. 特定引当預金取崩収入	6,000,000	7,290,000	△ 1,290,000	
退職給与引当預金取崩収入	0	1,290,000	△ 1,290,000	
15周年記念事業積立金取崩収入	6,000,000	6,000,000	0	
当期収入合計(A)	109,487,000	112,597,517	△ 3,110,517	
前期繰越収支差額	30,400,000	32,223,265	△ 1,823,265	
収入合計(B)	139,887,000	144,820,782	△ 4,933,782	
[支出の部]				
1. 事業費	86,934,000	77,622,365	9,311,635	
2. 管理費	42,597,000	40,618,030	2,450,970	
	472,000			(注)1
3. 特定預金支出	1,135,000	2,313,000	△ 1,178,000	
退職金引当預金支出	1,135,000	2,313,000	△ 1,178,000	
4. 固定資産取得支出	1,000,000	0	1,000,000	
5. 繰入金支出	300,000	600,000	0	助成寄付金特別会計への充当額
	300,000			(注)1
6. 予備費	2,000,000	0	1,228,000	
	△ 772,000			(注)1
当期支出合計(C)	133,966,000	121,153,395	12,812,605	
当期収支差額(A-C)	△ 24,479,000	△ 8,555,878	△ 15,923,122	
次期繰越収支差額(B-C)	5,921,000	23,667,387	△ 17,746,387	

(注)1 予備費△772,000円は、管理費・退職金112,000円、管理費・退会会費360,000円および繰入金支出300,000円に充当した額である。

(付表)

2004年度(平成16年度)事業費・管理費予算内訳

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
1.啓発普及事業	6,390,000	5,399,243	990,757	
セミナー	2,000,000	1,266,281	733,719	
全国メセナ組織交流	350,000	286,252	63,748	
広報活動	500,000	372,009	127,991	
人件費	3,540,000	3,474,701	65,299	
2.情報集配・仲介事業	29,344,000	29,497,564	△ 153,564	
機関紙	7,000,000	6,113,645	886,355	
情報システム	7,000,000	7,911,357	△ 911,357	(注)2
資料収集	900,000	879,105	20,895	
出版	8,000,000	6,704,817	1,295,183	「メセナセミナーシリーズ」5-7号
コーディネート	200,000	1,659,997	△ 1,459,997	(注)3 トヨタ自動車より受託
人件費	6,244,000	6,228,643	15,357	
3.調査研究事業	10,750,000	9,361,264	1,388,736	
調査	3,500,000	2,650,392	849,608	
研究	810,000	171,552	638,448	
実務担当者勉強会	200,000	65,318	134,682	
人件費	6,240,000	6,473,992	△ 233,992	(注)2
4.顕彰事業	19,200,000	14,331,261	4,868,739	
メセナ大賞	10,000,000	8,994,923	1,005,077	
人件費	5,200,000	5,336,338	△ 136,338	(注)2
5.国際交流事業	1,328,000	711,614	616,386	
国際交流	520,000	11,527	508,473	
人件費	808,000	700,087	107,913	
6.助成事業	20,922,000	17,347,475	3,574,525	
助成認定業務	7,038,000	6,530,493	507,507	
関西事務所	4,000,000	2,445,323	1,554,677	
人件費	9,884,000	8,371,659	1,512,341	
7.15周年記念事業	3,000,000	973,954	2,026,046	
記念業務	2,200,000	469,954	1,730,046	
人件費	800,000	504,000	296,000	
事業費合計	86,934,000	77,622,365	9,311,635	
役員報酬	4,320,000	4,320,000	0	
給与手当	6,690,000	4,360,100	2,329,900	出向料
臨時雇賃金	40,000	11,780	28,220	
人材派遣費	530,000	627,007	△ 97,007	(注)2
退職金	0	112,000	0	(注)1
112,000				
法定福利費	4,670,000	4,471,617	198,383	
福利厚生費	300,000	235,884	64,116	
出向料	0	2,700,000	△ 2,700,000	(注)3
会議費	150,000	180,897	△ 30,897	(注)2
旅費交通費	1,897,000	1,445,661	451,339	
通信運搬費	1,350,000	1,286,383	263,617	
消耗什器備品費	1,300,000	1,118,691	181,309	
消耗品費	550,000	320,080	229,940	
修繕費	500,000	51,600	448,400	
印刷製本費	1,200,000	606,270	593,730	
会場費	1,000,000	1,039,473	△ 39,473	(注)2
賃借料	14,500,000	14,325,665	174,335	
諸謝金	2,150,000	1,810,247	339,753	
租税公課	500,000	287,100	212,900	
渉外連絡費	400,000	519,000	△ 119,000	(注)2
会員懇話費	100,000	228,757	△ 128,757	(注)2
退会会費	0	360,000	0	(注)1
360,000				
編集資料	100,000	27,175	72,825	
雑費	150,000	172,683	△ 22,683	(注)2
管理費合計	43,089,000	40,618,030	2,450,970	

(注)1 予備費から充当した項目

(注)2 経理規程第44条1項の規定に基づき処理した項目

(注)3 経理規程第44条2項の規定に基づき処理した項目

収支計算書

2004年4月1日から2005年3月31日まで

助成寄付金特別会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
I 収入の部				
助成寄付金収入	500,000,000	649,320,000	△ 149,320,000	
受取利息	0	16	△ 16	
繰入金収入	300,000	600,000	△ 300,000	一般会計からの受入れ金
当期収入合計(A)	500,300,000	649,920,016	△ 149,620,016	
前期繰越収支差額	0	△ 16,035	16,035	
収入合計(B)	500,300,000	649,903,981	△ 149,603,981	
II 支出の部				
助成寄付金支出	500,000,000	649,320,000	△ 149,320,000	
雑 費	300,000	485,076	△ 185,076	
当期支出合計(C)	500,300,000	649,805,076	△ 149,505,076	
当期収支差額(A)-(C)	0	114,940	△ 114,940	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	98,905	△ 98,905	

正味財産増減計算書総括表
2004年4月1日から2005年3月31日まで

(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	助成寄附金特別会計
I 増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額	114,940		114,940
退職給与引当預金増加額	2,313,000	2,313,000	
2 負債減少額			
退職給与引当金取崩額	112,000	112,000	
増加額合計	2,539,940	2,425,000	114,940
II 減少の部			
1 資産減少額			
当期収支差額	8,555,878	8,555,878	
什器備品減価償却額	306,492	306,492	
ソフトウェア減価償却額	376,320	376,320	
退職給与引当預金取崩額	1,290,000	1,290,000	
15周年記念事業積立預金取崩額	6,000,000	6,000,000	
2 負債増加額			
退職給与引当金繰入額	219,500	219,500	
減少額合計	16,748,190	16,748,190	0
当期正味財産減少額	14,208,250	14,323,190	△ 114,940
前期繰越正味財産額	65,734,668	65,725,333	9,335
期末正味財産合計額	51,526,418	51,402,143	124,275

正味財産増減計算書
2004年4月1日から2005年3月31日まで

一般会計 (単位:円)

科 目	金 額		
I 増加の部			
1 資産増加額			
退職給与引当預金増加額	2,313,000	2,313,000	
2 負債減少額			
退職給与引当金取崩額	112,000	112,000	
増加額合計			2,425,000
II 減少の部			
1 資産減少額			
当期収支差額	8,555,878		
什器備品減価償却額	306,492		
ソフトウェア減価償却額	376,320		
退職給与引当預金取崩額	1,290,000		
15周年記念事業積立預金取崩額	6,000,000	16,528,690	
2 負債増加額			
退職給与引当金繰入額	219,500	219,500	
減少額合計			16,748,190
当期正味財産減少額			14,323,190
前期繰越正味財産額			65,725,333
期末正味財産合計額			51,402,143

正味財産増減計算書
2004年4月1日から2005年3月31日まで

助成寄附金特別会計 (単位:円)

科 目	金 額		
I 増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額	114,940	114,940	
2 負債減少額		-	
増加額合計			114,940
II 減少の部			
1 資産減少額	-		
2 負債増加額		-	
減少額合計			-
当期正味財産増加額			114,940
前期繰越正味財産額			9,335
期末正味財産合計額			124,275

貸借対照表総括表

2005年3月31日現在

(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	助成寄附金特別会計
I 資産の部			
1 流動資産	33,989,973	33,565,698	424,275
2 固定資産			
基本財産	20,000,000	20,000,000	
その他の固定資産	10,422,626	10,422,626	
資産合計	64,412,599	63,988,324	424,275
II 負債の部			
1 流動負債	10,223,681	9,923,681	300,000
2 固定負債	2,662,500	2,662,500	
負債合計	12,886,181	12,586,181	300,000
III 正味財産の部			
正味財産	51,526,418	51,402,143	124,275
負債及び正味財産合計	64,412,599	63,988,324	424,275

会計別貸借対照表

2005年3月31日現在

(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	助成寄附金特別会計
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	22,005,731	21,581,456	424,275
未収会費	4,490,000	4,490,000	
未収入金	7,494,242	7,494,242	
流動資産合計	33,989,973	33,565,698	424,275
2 固定資産			
基本財産			
基本財産引当預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
その他の固定資産			
什器備品	620,194	620,194	
電話加入権	224,952	224,952	
ソフトウェア	564,480	564,480	
敷金	2,700,000	2,700,000	
退職給与引当預金	2,313,000	2,313,000	
15周年記念事業積立預金	4,000,000	4,000,000	
その他の固定資産合計	10,422,626	10,422,626	0
固定資産合計	30,422,626	30,422,626	0
資産合計	64,412,599	63,988,324	424,275
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	1,261,335	1,261,335	
未払金	300,000	0	300,000
前受会費	7,870,000	7,870,000	
預り金	590,746	590,746	
未払消費税	201,600	201,600	
流動負債合計	10,223,681	9,923,681	300,000
2 固定負債			
退職給与引当金	2,662,500	2,662,500	
固定負債合計	2,662,500	2,662,500	0
負債合計	12,886,181	12,586,181	300,000
III 正味財産の部			
正味財産	51,526,418	51,402,143	124,275
(うち基本金)	(20,000,000)	(20,000,000)	(-)
(うち当期正味財産減少額)	(14,208,915)	(14,323,190)	(△114,940)
負債及び正味財産合計	64,412,599	63,988,324	424,275

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却について
 什器備品・・・定額法による減価償却を実施している。
 ソフトウェア・・・定額法による5年均等償却を実施している。
- (2) 引当金の計上基準について
 退職給与引当金・・・期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
- (3) 資金の範囲について
 資金の範囲には現金・預金、未収会費、未収金、未払費用、未払金、未払消費税、前受会費、預り金及び前払金、立替金、仮払金・仮受金としている。なお、前期末および当期末残高は下記3に記載するとおりである。
- (4) 消費税等の会計処理について
 消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2. 基本財産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	20,000,000	-	-	20,000,000
合計(基本金)	20,000,000	-	-	20,000,000

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	34,836,221	22,005,731
未収会費	2,980,000	4,490,000
未収入金	4,481,836	7,494,242
合計	42,298,057	33,989,973
未払費用	458,736	1,261,335
未払金	-	300,000
前受金	8,750,000	7,870,000
預り金	665,591	590,746
未払消費税	216,500	201,600
合計	10,090,827	10,223,681
次期繰越収支差額	32,207,230	23,766,292

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,767,787	1,147,593	620,194
ソフトウェア	1,881,600	1,317,120	564,480
合計	3,649,387	2,464,713	1,184,674

財 産 目 録
2005年3月31日現在

(単位:円)


科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
(1)現金 預金			
現金 現金手許有高	233,723		
物品小切手等(切手、メロカード、商品券)	5,000		
普通預金			
みずほ銀行 数寄屋橋支店	5,111,104		
三井住友銀行 丸の内支店	10,123,864		
三井住友銀行 銀座支店	1,474,360		
みずほ銀行 銀座支店	335,398		
東京三菱銀行 本店	424,275		
郵便振替貯金	3,298,007		
定期預金 郵便局・定額貯金	1,000,000		
(2)未収会費 2004年度14法人	4,490,000		
(3)未収金 文化庁アーツプラン委託事業、「TAM」コーディネート2件	7,494,242		
流動資産 合計		33,989,973	
2 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金 みずほ銀行 数寄屋橋支店	20,000,000		
基本財産合計	20,000,000		
(2)その他の固定資産			
什器備品 パソコン、電話機	620,194		
電話加入権 電話5基	224,952		
ソフトウェア 「メセナビ」システム	564,480		
敷 金 賃借事務所差入敷金	2,700,000		
退職給与引当預金 みずほ銀行 銀座支店	2,313,000		
15周年記念事業引当預金 郵便局・定額貯金	4,000,000		
その他固定資産 合計	10,422,626		
固定資産 合計		30,422,626	
資 産 合 計			64,412,599
II 負債の部			
1 流動負債			
(1)未払費用 ((株)青丹社他14件)	1,261,335		
(2)未払金 (助成寄付金支出1件)	300,000		
(3)前受金 前受会費	7,870,000		
(4)預り金 職員健康保険料	85,280		
職員厚生年金保険料	144,911		
源泉所得税	360,555		
(5)未払消費税 2004年度消費税及び地方消費税	201,600		
流動負債 合計		10,223,681	
2 固定負債			
(1)退職給与引当金	2,662,500		
固定負債 合計		2,662,500	
負 債 合 計			12,886,181
正 味 財 産			51,526,418

監 査 報 告 書

平成 17 年 6 月 7 日

社団法人企業メセナ協議会
会長・理事長 福原義春殿

監事 前田晃伸 

監事 中嶋清次 

私たちは、平成 16 年 4 月 1 日から平成 17 年 3 月 31 日までの監査を行い、
次のとおり報告します。

1. 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認めます。
2. 事業報告書の内容は真実であると認めます。

以上